

# 教宣 せぶん

解決記念日 取りくみ報告

## 全損保脱退方針に反対したメンバーが集結 『2月3日』を6名で祝福

争議解決から2年目を迎える『2月3日』を記念した懇親会が、2月2・3日、小諸・常



盤館で開催されました。今回はいつものメンバーに加え、千葉から栗原さんと佐藤さんが駆けつけてくれました。

そもそも私たちの争議は2004年の組合分裂に端を発しました。前年の分会再編によって7つの分会が統合された関東信越分会は、200名近くの組合員を抱える最大の分会になっており、全損保からの脱退を決めた支部方針を審議する分会臨時総会が2004年5月10日にさいたま

市で行われました。会場は脱退方針を承認しようとする強力な運営がはかられ、大多数が賛成に回るなか、堂々と反対に挙手をした組合員が7名いました。今回お集まりのメンバーはその『勇気ある行動』をとった方々です。

懇親会は当時をふり返り、『翌日、どういうわけか支



店長が『うちの支店から反対者がいなくて良かった』と言っ

てきた。『私は反対しましたよ』と言うと、支店長はビックリしてなんともバツの悪い顔をしていた。『そう言えば、反対者を把握しようとした執行部が『1名、確認できなかった』と言っていた。いまその一人がわかったが、そんな情報がすぐに会社側に回っていたんですね』という会話であらためて組合と会社が一



体となった脱退劇だったことが明らかになりました。また、「分会がひとつに再編された意図は全損保からの脱退を行いやすくするための手段に過ぎなかったが、今となってはこうして新しい仲間との出会いが生まれたことが財産だ」「勇気が必要だったが、堂々と全損保に残るという意味を示めすことができ、本当に良かった」などと話し合われ、楽しい会話の中にも絆を確認できる懇親会となりました。

あれから 8 年が経過しようとしています。集まったメンバーは皆 “勇気ある行動” を裏付けるように、惑わされず、まっすぐに、自然体で、日々を過ごしているように感じました。そして、打ち解けた、飾らない会話ははずみ、“2 月 3 日” を祝福する宴は深夜まで続きました。



最後に、常盤館名物のトロッコ電車にもっと多くの仲間に乗ってもらべく、このつながりを広めていくことを全員で確認しました。